

漁業無線連絡指導

那珂湊・久慈無線

1 通信事務

所屬漁船の操業範囲に対応し中短波電信、電話短波電信、電話又は超短波電話(150MC~27MC)那珂湊局に中短波、短波の電信及び150MC超短波、久慈浜局に中短波、短波(SSB)150MC~27MC超短波の電話を施設しあり、150MC~27MCは日帰り程度の小型沿岸船約100隻。

中短波電信電話使用する漁船は超短波使用する船より大型の50屯以上150屯程度の操業海域の広い沿岸漁業の船舶局で約8~90隻、短波電信電話を使用する局は遠洋漁業を主とする船で約30隻で指導船を含むこれらの漁船と指導、漁業通信を行い又漁船の航行の安全確保及び漁業経営陸運加工業の手配に遺憾無きを期した。

2 指導通信

気象、那珂川河口の波浪の状況天候等を周知し安全運航入港に利便を与え、又各市場の市況の総合報告入港船の予定等の報道により入港船の集中を避け魚価の安定に資し、又一般漁況及び指導船の漁況を収録し漁海況の解析と研究資料に供した又は米軍の爆撃訓練、射撃訓練等の予告を各船に周知徹底せしめ危険の予防に力めた。

3 保安通信

常時24時間勤務をもつて海上船舶の安全を見守り事故あれば直ちにこれを海上保安庁又は近接せる船舶及び各関係に連絡協力を求めこれが救助に万全を期した救助件数三。

4 通信士育成指導

(イ) 育成水産高校の通信科生の実習に協力

(ロ) 通信士の再教育、講習、打合せ会等により通信士の再教育に務め資格向上を図つた。

(ハ) 申請、届報告の指導、電波管理局に対する申請書、届書報告書等免許人、通信士より提出する書類の指導に務めてきた。

5 通信士の需給斡旋

通信士の需要、供給の中核となり大体に於て需要供給の面に遺憾なきを期した。

6 短波新設

本年度500Wの短波無線機を増設従来三崎経由しての遠洋漁船は直接地元局と通信可能となり遠洋漁業運営上多大な利便を与えることが出来た。亦遠洋漁船増加に伴い一層慶賀すべきことと思ひます。

7 公衆通信

公衆通信局の許可申請中でこれが許可になりますと従来漁業通信のみしか通信出来なかつた局も当局を利用して一般通信を送受出来る様になり乗組員の私用通信が出来ることとなりますので不便をしておつた乗組員対家庭への色々な通信が行いますので一日も早くその許可が下る事を望みます。